

# 第4回

## 共同利用館後継施設検討部会

### 議 事 録

日 時：2023年12月27日（水）午後6時開会  
場 所：札幌市役所 地下1階 4号会議室

## 1. 開 会

○本田部会長 定刻となりましたので、第4回共同利用館後継施設検討部会を開会いたします。

本日は、委員5名全員にご参加いただいております。

まず、事務局からお願いいたします。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） アイヌ施策課の大屋でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、年の瀬のお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

皆様のお手元に資料を配付させていただいております。次第のほか、資料1から資料3となります。また、令和5年3月にまとめていただきました部会の中間報告書をお配りしております。

また、本日、共同利用館後継施設の整備に向けて調査などのサポートをいただいております株式会社ドーコンの担当者にオブザーバー参加していただいております。必要に応じて発言の機会などもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

本日の部会では、近年整備された他の自治体の生活館の事例について情報提供させていただくほか、後継施設の機能について改めてご意見をいただきたいと考えております。また、後継施設の整備候補地として事務局で検討しております土地について、皆様方からご意見を頂戴したいと考えております。本日の議論を踏まえ、今後、検討のたたき台となる後継施設のプラン案を検討していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは以上になります。

## 2. 議 事

○本田部会長 部会としての開催は本当に久しぶりになりますが、いよいよ大詰めの大事なところに来ていると思います。この間、事務局にはほかの自治体における整備事例の調査や後継施設整備の候補地について検討していただきました。

本日は、まず、ほかの自治体における近年の生活館の整備事例について情報共有していただきたいと思います。

資料1について事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局（松下企画係長） 資料1をご覧ください。

アイヌ政策推進交付金により整備された道内の生活館の事例についてです。

おめくりいただいて、2ページをご覧ください。

こちらの資料では、これから整備される予定のものも含め、アイヌ政策推進交付金で整備された10の生活館の概要を記載しております。10施設について簡単に紹介させていただきますが、整備済みの施設は、いずれも木造平家建てとなっております。

3ページは、むかわ町のイモッペ生活館です。

延べ床面積が544㎡の施設です。比較的大きな多目的室が整備されているのが特徴です。そのほか、展示コーナーや調理室、研修室や和室等の小規模の貸室が整備されております。

4ページは、洞爺湖町のアイヌ民族共生拠点施設ウトウラノです。

延べ床面積が494㎡の施設です。展示ケースのある交流ホールに加え、アイヌ研修室というアイヌ文化関連の取組を行うための部屋が整備されております。このほか、調理室と会議室が整備されております。

5ページは、新冠町のポロシリ生活館です。

延べ床面積が478㎡の施設です。交流ホールと囲炉裏の間が続き部屋となっており、こちらがメインの集会室になっています。このほか、調理室、和室等が整備されています。なお、聞き取りでは若い人たちを呼び込んでいくことが課題と考えているというコメントがございました。

6ページは、釧路市の春採生活館です。

延べ床面積が430㎡の施設です。文化伝承室、地域交流室等の集会室が整備されております。展示ホールが整備されており、ここで体験事業等が行われているということです。

7ページから9ページにかけての施設は、若干小規模な生活館です。

伊達市の有珠生活館、新ひだか町のふれあい生活館、豊富町の稚咲内生活館で、いずれも貸室と調理室、その他諸室という構成になっております。

10ページは、白老町の白老生活館です。

延べ床面積が482㎡の施設です。集会室と研修室に加えて、儀礼室という名称の部屋が整備されています。

11ページの弟子屈町の屈斜路古丹生活館と12ページの幕別町の多機能型交流施設については来年度の整備予定となっております。

資料1についての説明は以上です。

○本田部会長 資料1については情報共有ということになりますけれども、ご不明な点があればお願いいたします。

まず、私からです。

幕別町の施設は多機能型で、延べ床面積が1,400㎡近くあり、そのうち、生活館が700㎡弱ということで大きいかなと思うのですが、これについての情報はほとんど入っておりませんか。

○事務局（松下企画係長） 幕別町では、現在、計画や設計が進められている段階ですが、基本計画として公表されている資料がございます。今回の資料には細かい部分は落とし込めませんでした。他の施設と同様に伝承室や研修室が整備されております。後日、皆さんにも共有させていただきたいと思っております。

○本田部会長 もう一点です。

工事費用が書かれておりますが、いずれも3億円弱になっているかなと思っております。この

金額で建物全体ができたのでしょうか。

○事務局（松下企画係長） それぞれの施設とも、建物、設備、電気は本体工事費の中に入っています。備品など、付随してかかるものが若干これにプラスされると思いますが、基本的にはこの金額で建物の整備はされています。

○本田部会長 それが交付金で賄えているという感じなのでしょうか。

○事務局（松下企画係長） 国の交付金の制度として、事業費2億5,000万円に対して2億円の補助金という上限で交付する仕組みになっております。一部、2億5,000万円を超過している施設はございますが、今回紹介した施設はおおむね交付金の上限範囲内で整備されていると認識しております。

○本田部会長 ほかにございませんか。

○多原委員 これには、地方で整備されたものについて、見取り図や金額などが出ております。この時点でも1階建ての平屋でこのぐらいの金額がかかっているのですよね。それを見て金額的には非常に厳しいのではないかと思いました。

万博の話ではないのですが、いろいろな価格が高騰している中、希望していたものを計画に落とし込めるのでしょうか。もし交付金で賄えない場合、先ほどの本田部会長の質問と重なってしまうかもしれませんが、どのように考えているのか、お聞きしたいと思います。

○事務局（大屋アイヌ施策課長） 札幌市としても建築資材の高騰や人件費の上昇は承知しているところです。この資料に載っている施設については、多いものでも3億円弱という整備費用になっておりますが、それを超えるような整備費用になる可能性も視野に入れているところです。国の交付金の関係で言えば、事業費総額で2億5,000万円という金額があるのですが、この検討部会においては、ひとまずは金額を気にすることなく、札幌のアイヌ民族が文化活動や継承活動を行うに当たり、必要な機能をしっかりと備えた施設となるような検討を行っていただきたいと考えているところです。

○本田部会長 多原委員に私が知りたかったことを聞いていただけてありがたかったのですが、ほかの自治体で交付金の上限を超えてつくられたところがあるのかということなのです。釧路市のものは金額がもっとかかっていたのかなと思っていたのですが、これを見る限り、そうではないのですよね。だとしたら、札幌市が独自にそういう道を開いていただかないといけないかなと心配しております。

ほかにございませんか。

（「なし」と発言する者あり）

○本田部会長 次に、資料2について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（松下企画係長） 資料2をご覧ください。

先ほどご紹介した整備事例のうち、昨年度までに整備された施設について、利用状況などを追加でお聞きしてございまして、その内容をまとめた資料となります。

①の施設の基本状況については、資料1の内容と若干重複しますが、特徴的な内容をご

紹介します。

まず、囲炉裏です。以前の部会でも囲炉裏は伝承に必要だというご意見をいただいておりますが、整備している生活館が洞爺湖町、新冠町、釧路市です。また、各施設、若干の展示スペースがあります。これは、展示用の部屋があるというわけではなく、ホールに併設してスペースが確保されている状況です。それから、女性や子どもが利用しやすい機能として、洞爺湖町では授乳室が整備されております。

次に、②の施設の機能や利用実態についてです。

アイヌ文化関連の利用については自治体によって内容のばらつきがありますが、舞踊、民具複製、伝統儀式などの活動で利用されています。また、アイヌ文化関連ではない一般利用として、いずれの生活館においても地域の会合やサークル活動などで利用されています。

次に、③の施設全体のレイアウトや使い方についてです。

この部会でも、観光客等を受け入れる想定とするかどうかについて議論がありましたが、各自治体においてばらつきが見られます。また、アイヌ民族が利用しやすいようにするためのレイアウト上の配慮として、洞爺湖町と釧路市では利用内容によって部屋を使い分けられているという回答がございました。

おめくりいただき、裏面をご覧ください。

ヌサの設置や用具の保管場所についてもお聞きしております。

それから、使い勝手について意見や苦情があるかをお聞きしましたところ、この委員会でも意見がありましたが、洞爺湖町においては研修室の天井の高さが足りないというご意見があったというお話をいただいております。

次に、④の施設の運営の項目では、利用者数等をお聞きしたほか、アイヌ民族が利用しやすいようにするための運営上の工夫として、洞爺湖町ではアイヌ関連の行事をまず調整するという工夫をされているとのことでした。また、釧路市、伊達市においても、調整を行い、その内容によって利用承認を行うという方法でアイヌ民族の方が利用しやすくしているとのことでした。それから、宿泊については、むかわ町と新冠町において例外的に認めているとのことでした。

次のページをご覧ください。

施設に必要な機能やレイアウトを検討する上で考慮すべき事項についてです。

次回以降の部会では、検討のたたき台となる後継施設のプラン案を検討していただきたいと考えております。昨年度にまとめていただきました中間報告をベースにして、本日も意見をいただく内容も踏まえ、皆様方に提示する資料を検討したいと考えておまして、その資料を作成に当たり、追加で皆様からご意見をいただきたいと思っております。

①の活動・機能についてです。

後継施設で行う主な活動としては、舞踊の練習、アイヌ語教室や講習、民具制作、調理、儀式などを想定しておりますが、レイアウトを検討するに当たり、特殊な活動を想定する

必要がありましたら、このようなものがあるというご意見をいただきたいと思います。

②の後継施設の集会室についてです。先ほどの①にも関連しますが、主な居室として想定される集会室について、どのような配慮が必要かといったご意見をいただければと思います。これまでの部会で囲炉裏が必要というご意見や天井の高さを考慮する必要があるといったご意見をいただいておりますが、そのほか、こういったことに配慮してほしいということがありましたらお聞かせをいただきたいと思います。

③は、3点目として、アイヌ民族への配慮として、アイヌ民族とそれ以外の方が快適に利用するためにどのような配慮が必要か、ご意見やアイデアがありましたら、追加でいただきたいと思います。

④は、4点目として、女性や子どもの利用しやすさについてです。一般の施設とは異なるアイヌ関連施設としての特殊性などを踏まえ、ご意見やアイデアがございましたらお願いしたいと思います。

⑤は、5点目として、これまでの4点に加えて、プランを検討するに当たって考慮すべき観点がありましたら、ご意見をいただければと考えております。

事務局からは以上です。

○本田部会長 各施設における利用状況等についてご説明をいただきました。

このような情報も踏まえ、改めて施設に必要な機能やレイアウトを検討する上で考慮すべき事項についてご意見があればいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○後藤委員 ②の後継施設の集会室についてです。

自分がもし踊りの練習をするならばこうあったらいいなということで何点かあります。

まずは、広さが確保できるということです。横に広がったり、四方にちらばってから集まったりするような踊りがあるのですが、そのとき、広さがないと、本来の形では踊れないのです。具体的に何メートル掛ける何メートルということはご提示できないのですが、広さがあればいいなと思っております。

それから、どこに建てるかによって周囲の環境は変わるとは思うのですが、防音機能があれば、気にせず、声を張り上げて練習できるかなと思いました。また、今おっしゃってくださっていた天井については高いほうがいいかなと思います。

構造として、洞爺湖町のウトウラノの集会室は、間の間仕切りを取っ払うと続き間になるということでしたよね。壁で仕切られた会議室を二つというより、二つにもできるけれども、いざとなったら間仕切りを取って広げられるというのはすごくいいなと個人的に思いました。

また、費用の面もありますけれども、どこかの壁一面を鏡にしていただけたら、踊りを見られ、上達するなと思っております。大学で練習するとき、そうしたものがある部屋はすごく便利です。

それから、囲炉裏の話をされていたと思うのですが、儀式の伝承にはすごくいいと思います。しかし、床面積が自由に確保できず、囲炉裏のある部屋と集会室が同じ部屋

になるのであれば、踊りをしたいので、囲炉裏をどけるということになって、スペース的に難しいかなと思いました。

そして、すごく細かいことになってしまうのですが、刀を使った踊りなどで床を鳴らすことがあるのですね。ある程度は響く床のほうがやりやすいのですが、とても硬い床だと足が痛くなると男子学生が言っていたので、そこにもできれば配慮していただきたいなと思います。

さらに、椅子や机を出せば会議室としても使えるけれども、それをよけて踊りの練習ができるようなスペースがあればいいかなと思いました。

○本田部会長 ありがとうございます。

ほかにございませんか。

○多原委員 書いている順番でお話します。

活動・機能についてです。

いろいろなものをつくる部屋があると思うのですが、機織りをやっていると、非常に長い場所が必要なのです。機織りする期間がずっとではないのだろうと思いますが、そういったことも想定し、きちんとできる場所があればいいなと思います。二風谷ではそういうふうにされていたかと思います。

次に、②の集会室についてです。

ここにアイヌ生活相談室も置くのかなと思うのですが、相談機能として、相談者のプライバシーがきちんと守れるよう、皆さんに聞こえたり、見られたりしないところに相談する場所があったらいいかなと思います。これは、前にもそのような話が出たかと思います。

次に、④の女性や子どもの利用しやすさについてです。

多くの人たちが集まって意見を聞いたとき、トイレの話がすごく出たのです。今の共同利用館は男女に分かれていないということがあったからだと思います。これは当然ですが、男女だけではなく、障がいを持った方、あるいは、どちらにも入りたくないという方など、誰でも入れるトイレが必要かなと思います。

次に、ホールなどで舞踊の練習をたくさんされるかと思うのですが、その際の着替える場所です。楽屋ほどは要らないのですが、さっと着替えられて、衣装が似合っているかということを確認できるよう、姿が映る鏡と明るい場所が必要かなと思います。

次に、全ての貸し館事業が終わるまで管理人がいる体制についてです。施錠のほか、安全・安心が確保できるよう、ぜひご配慮をお願いいたします。

○本田部会長 ありがとうございます。

ほかにございませんか。

○藤岡委員 バックヤードといいますか、収納スペースについてです。

今、ピリカコタンに体験プログラムの道具などがあります。そういうものをどちらに置くのかは分かりませんが、各団体があるので、皆が共有して使うものをきちんと保管する共有スペースがあるととても助かります。

今の共同利用館は、鍵がかかっている、自由に入れません。また、常時入れません。いつでも行ける場所ではないので、いつでも入れるようになればうれしいです。

また、先ほど言っていたいた囲炉裏です。今、共同利用館で練習しているのですけれども、子どもたちも囲炉裏をまたいで遊んでいたりと、練習していたりするのです。

この集会室というのはホールをイメージしているのですよね。そのホールと囲炉裏は共有しないほうがいいのかと思います。結局、練習するにも、そこをよけなければならないということになるのです。ほかに集会所が別にあるところがありましたよね。囲炉裏の間と交流ホールに分かれているところです。このようになっていたほうがいいですね。また、できれば幅9メートルくらいで、むかわ町のホールが踊りを練習するのにいいですね。

横幅が9メートルくらいあると、小さい舞台をつかって練習できます。奥行は様々ですが、横幅が10メートルくらいあると本当はいいのです。多目的室は大きいほうがうれしいです。

○本田部会長 ありがとうございます。

ほかにございませんか。

○伊藤委員 ①についてです。

舞踊の練習など、いろいろとあるのですけれども、子どもの学習につながることで、子どもだけではなく、大人から大人への伝承もあるかなと思っていて、大学の教授がやるような講演もあると思いますので、パソコンやプロジェクターを用いた学習ができるような場所や機能、あるいは、映像を映すモニターも必要かなと感じました。

次に、集会室についてです。

本当はたくさんつくればいいと思うのですが、お金との兼ね合いもあるので、大きな部屋を一つだけつくるとなりましたが、移動式の間仕切りを用意し、その時々によって、片方では歌の練習を、もう片方では踊りの練習をするというように、使用者が部屋を自由に割り振りできるようになればいいと思います。

それから、集会室と儀式の伝承の場所が一緒になるのであれば、外にそのまま出られるような窓があったらいいなと思います。恐らく、そういったところで伝承活動が始まると、外に祭壇をつくる可能性があって、儀式が終わった後に先祖供養をしましょうということになった場合は、囲炉裏の近くで儀式を行い、それが終わった後にそのまま外に出ることになるので、できるだけ外に出られるような大きめの窓があればいいということです。

また、ロールプヤラではないですが、窓の方角、神窓の方向や方角も意識しなければいけないといいますか、アイヌ文化へのリスペクトを持つのであれば、そういうことも必要なかなと思いました。

○本田部会長 囲炉裏と外の祭壇とそこにすぐに出られるというのは二風谷生活館がとてもよくできていて、広いホールのほか、そこと別れて小上がりになっている畳のところに囲炉裏が切られているのです。そこで儀式をやって、男性の方々は横に設けられたドアからすぐに祭壇のほうに出られるようになっていますので、参考にさせていただけたらいい



と思います。

それから、私としても、子どもの学習だけではなく、いろいろな学びの場になるべきだと思っていて、そこに少し配慮していただければと思いました。壁一面をホワイトボードにすると、子どもたちは自由に書けるのです。ハワイ大学に行ったとき、すごいなと思ったのですが、四つの壁全てがホワイトボードなのです。先生が課題を出したら、それぞれのグループがそれぞれの面に行き、自分たちの課題をやっているのを見たとき、とても機能的な学習ができるなと思ったのです。

それで、うちの大学にそれを要求しましたところ、お金がかかるのですと言われ、情けないことに1面だけになりました。でも、そのようにしておけば、そこにプロジェクターで映像を映せますし、使いやすいですね。そういういろいろな学習の際に使い勝手のいいものです。

また、セロテープではないと貼れないのは大変なのです。ですから、壁の素材を考えていただいて、自由にいろいろなものを掲示できるようにすることを考えていただければ、大人も子どもも使いやすいかなと思いました。

そうした細かなこととは別にお尋ねしたいことがあります。例えば、二風谷の大きなホールでは葬儀もイベントも全部やるのです。ただ、一番大きいのは、地元で人がお亡くなりになったときの葬儀です。そういう機能を札幌でつくるときに持たせるのかどうか。

それができたら、高い葬祭ホールを家族がお借りすることがなく、アイヌの方々が集まって、そういうことが行われるといいな、こういう人のお見送りの仕方があるのだなとも思ったので、そういう機能まで考えるのかです。それとも、踊りの練習、小さなイベントまでに収めるのかで箱の大きさが随分変わってくるかなと思いましたので、皆様のご意見を伺って、規模を考えないといけないなと思いました。

あとは展示スペースをつくるのかどうかですが、今はそういう意見だけ申し上げたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。

○後藤委員 少し補足させてください。

今、展示のお話を本田委員長がされていましたが、壁一面でもガラスケースがあったらいいと思うのですけれども、どこかの施設を見てよく思うのですが、直射日光が当たっているところ、あるいは、ここは湿気がすごいのではないかと思うところがあって、気になって見てしまうのです。せっかく大事なものを展示することになるので、もちろん、設計のときに考えられると思うのですけれども、日がずっと当たらないようにする、温度や湿度を考えるようにしたらいいのではないかと思いました。

次に、女性や子どものところについてです。

できれば段差を少なくして、足の悪い方に配慮するといえますか、バリアフリーにできたらいいのではないかと思いました。

また、調理室がある施設が多いですけれども、大学の調理室をお借りして、食文化の調

理実習をやることのあるのですが、IHはすごく使いづらく、火加減の調整や合うお鍋がないということがあるのです。防火の関係で難しいのかもしれないのですけれども、できればガス火で、複数の口があると便利かなと思いました。そして、どんな調理をするかは分からないのですけれども、サケをさばくということまで想定するのであれば、広い作業台がないと結構大変かなと思います。

○本田部会長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○本田部会長 ありがとうございました。

札幌市におかれましては、本日のご意見も踏まえ、具体的な検討を進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

次に、資料3について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(松下企画係長) 資料3をご覧ください。

後継施設の整備候補地についてです。

札幌市では、後継施設の整備場所について、現在の共同利用館後継施設の敷地のほか、廃止となった豊園保育園跡地での整備も含めて検討したいと考えております。

本日の資料では、2地点の概要と現時点で考えられる評価をまとめております。

中間報告においては後継施設の立地等に関する考え方をまとめていただいております。資料の中段に記載がありますが、公共交通で利用しやすいこと、可能な限り中心部であること、十分な駐車場を確保すること、植物等について学べる環境、以上の4点です。本日の評価では、中間報告のこれらの観点に基づき、敷地条件、公共利便性、周辺環境の三つの観点を中心に評価を行っております。

おめくりいただきまして、A3判のページをご覧ください。

まず、それぞれの敷地の概要についてです。

候補地1の現施設の敷地ですが、白石区本通20丁目南に位置しており、最寄り駅は地下鉄東西線南郷18丁目駅で、出入口から徒歩10分の位置にあります。

拡大図にあるとおり、背後がホームセンター、左右が共同住宅と立体駐車場、向かいが自動車整備工場という周辺環境になっております。

今回新たにお示しする候補地2については、豊平区美園5条1丁目に位置しており、地下鉄東豊線豊平公園駅の出入口から徒歩5分の位置にあります。札幌市所有の土地であり、豊園保育園がありました。今年3月に閉園してございまして、既に建物が解体され、更地となっております。

国道36号から近く、拡大図にありますとおり、豊平公園に隣接しております。豊平公園温水プールの隣の敷地となっており、東側にはみどり小学校が、向かい側には集合住宅や寺院がございまして。

拡大図中、候補地の東側の豊平公園側が空白となっております。同じく豊園保育園跡地

の敷地ですが、こちらは豊平公園温水プールの駐車場の整備が検討されております。

裏面をご覧ください。

候補地の評価です。

Aの敷地条件についてです。

まず、現施設の敷地については、敷地面積300㎡、用途地域は準工業地域です。容積率200%、建ぺい率60%となっており、あくまでも理屈上ですが、延べ床面積で最大600㎡、平家の場合は180㎡まで建てられる土地ということになります。この土地で現地建て替えとなりますと、新施設整備までの期間、代替施設が必要になります。

このようなことから、全体的な評価としては、敷地面積が狭く、検討に制約が多い土地となります。また、工場や大型商業施設など、本施設になじまない施設が周辺に建設される可能性がありまして、3段階でcという評価を記載しております。

一方、豊園保育園跡地については、敷地面積1,300㎡程度の土地となっております。平坦な土地で、用途地域は第2種中高層住居専用地域です。容積率200%、建ぺい率60%となっており、理屈上は、延べ床面積で最大2,600㎡、平家の場合は780㎡まで建てられる土地となります。こちらは更地の状態であり、代替施設の確保は不要です。

このようなことから、全体的な評価としては、敷地面積が広く、柔軟な配置計画が検討できる土地であり、また、周辺環境としても閑静な環境を保つことができるものと考えられることから、評価としてはaとして記載しております。

次に、Bの交通利便性についてです。

現敷地については、都心部、地下鉄大通駅からの所要時間で言いますと24分程度の位置になります。路線バスについて言いますと、札幌駅のほか、新さっぽろ、真駒内、大谷地方面と結ばれております。自家用車によるアクセスについては、中心部から24分程度となっております。主要幹線道路に近い立地ですが、市の東部に位置しているため、特に西方面や北方面からはアクセスしづらい場所となっております。駐車場台数については、現状で5台程度ということで、多くの方が集まる場合には不足するという状況です。

このようなことから、全体的な評価としては、路線バスの便数は確保されている一方、都心部からのアクセスにやや時間を要すこと、自家用車によるアクセス性や駐車場の確保が課題であることから、評価としてはbと記載しております。

豊園保育園跡地については、地下鉄大通駅からの所要時間は13分程度となります。最寄りのバス停は札幌駅方面、福住・清田方面の便があります。自家用車によるアクセスについては中心部から12分程度で、全市域から比較的アクセスしやすい立地と考えております。駐車場台数については、今後の施設配置の検討にもよりますが、現敷地より多くの駐車スペースが確保できる見込みです。

このようなことから、全体的な評価としては、アクセス性が優れているということで、aと記載しております。

次に、Cの周辺環境についてです。

現在の敷地については、本施設になじまない施設が既に多数立地しているほか、周囲の建物同士が近接しておりまして、相互に騒音の影響が大きいほか、周囲に公園や緑地が少なく、連携できるような施設も見られないことから、評価としてはcと記載しております。

豊園保育園跡地については、豊平公園に隣接しており、自然環境が良好で、アイヌ文化に関連する植物等についても学べる環境です。また、比較的閑静な環境であり、隣接する小学校との連携も可能と考えられるため、評価としてはaと記載しております。

このほか、その他として災害リスクについても参考に記載しております。

事務局からは以上です。

○本田部会長 後継施設の候補地について事務局から示していただきました。

皆様からごっくばらんにご意見をいただきたいと思います。

どちらがいいというお話でも結構ですし、ご質問でも結構ですので、自由にご発言をお願いいたします。

○多原委員 豊園保育園跡地の敷地面積は今の4倍ありますし、交通の利便性は全てにおいて短縮されていると思います。また、駐車場ですが、今は大変で、前の道路の交通量がすごく多く、車をなかなか止められず、非常に苦労していますが、こちらはきちんと確保できます。そして、何ととっても、周辺環境として豊平公園があり、小学校があり、札幌の中でこのような場所が見つかる可能性は非常に少ないと思いますので、ここが最適かなと思います。

札幌市においてはぜひこの豊園保育園跡地で検討を進めていただきたいと思います。

○本田部会長 ほかにいかがでしょうか。

○藤岡委員 敷地も広くなり、大きい施設が建てられそうですし、近隣には公園があり、アイヌ文化を自分たちでも学べるし、一般の方々とも交流でき、夢が広がるとてもよい場所なので、ぜひこの豊園保育園跡地で検討を進めていっていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○本田部会長 ほかにいかがでしょうか。

○伊藤委員 豊園保育園跡地ですが、このあたりは静かな場所ですし、まず、一番大きいのは敷地面積が広いということで、建物が広くなければ、それだけできる活動も広がるということがあるかと思います。何より、現在の場所にご高齢の方が行きづらいと言っていました、あそこであれば改善されるのではないかと思います。ご高齢の方から子どもへ向けて伝承活動もしやすくなるのではないかと感じましたし、豊平公園との連携が考えられるのはすごくいいですね。

先ほど展示の話が出ましたけれども、豊平公園との連携で、展示ではないですけども、アイヌ文化を紹介するちょっとしたイベントができれば、今までよりいいアイヌ文化イベントや施設を中心とした伝承活動ができるのではないかと思いますので、候補地2がよいのではないかと考えております。

○本田部会長 ほかにいかがでしょうか。

○後藤委員 資料で候補地の1と2を見比べますと、延べ床面積が全然違いますよね。候補地1のままだと、床面積を確保するには上に延ばさなければならず、おのずと建設費用が必要ですよね。集会室の広さも取れる点、そして、アクセス性も含め、候補地2のほうがバスの本数も多いですし、公園が近くにあるのはすごくいいなと思います。アイヌ関連の植物のことを学ぶことが私は好きなのですが、離れたところにある公園に行くというのではなく、建物の横にちょっと行こうかといって出られる環境はすごくいいなと思いましたので、候補地2になるとすごくいいなと思っております。

○本田部会長 ありがとうございます。

私も、皆様がおっしゃったように、この短期間にこの土地をよく見つけていただけたなと札幌市に感謝しておりますし、ベストだと思っております。どういう建物にするかはこの後に議論しないといけないと思うのですが、離れたところにひっそり集まっているというようなイメージがあるような気がするのです。

私が授業をやっている、アイヌの人たちはいるのですかと平気で学生たちは質問や感想に書いてくるのです。そうではなく、隣に温水プールもありますし、いろいろな方々が集まれ、そこにアイヌの施設があって、プライバシーは守りつつ、でも、開かれた、アイヌの人たちがああいうところで活動しているのだということが示せるような場所となれば、アイヌ民族全体のイメージが転換するきっかけにもなるのかなと思っております。そういう意味でも、あそこの場所はすばらしいな、あとは建物だなと思っています。豊園保育園跡地でぜひ進めていただければと思います。

本日本日予定していた内容は以上ですけれども、皆様から何かご質問やご発言、あるいは、お知らせがあればお願いしたいと思います。

いかがでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○本田部会長 それでは、事務局からお願いいたします。

### 3. 閉 会

○事務局(大屋アイヌ施策課長) 本日は、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

次回の部会についてです。

現段階では2月頃の開催を考えております。本日皆様からいただきましたご意見を踏まえ、後継施設の具体的なたたき台をお示しし、皆様からさらなるご意見をいただきたいと考えております。その上で、3月にも3回目の部会を開催して検討を深めていき、部会として大まかな施設の概要案を取りまとめ、アイヌ施策推進委員会に報告していただくことを想定しております。さらに、来年度につきましては、より具体的な基本計画という形にまとめていく予定ですので、引き続きご協力よろしくをお願いいたします。

なお、本日の議事内容については、後日、札幌市ホームページにおいて公開させていた

だきますので、ご承知おきください。

どうぞよろしく願いいたします。

○本田部会長 それでは、以上で本日の部会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

以 上